

NO. 133 平成 22 年 4 月 1 日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

エゾエンゴサク

Corydalis ambigua

ケシ科 キケマン属

北国の春を青紫色で飾るエゾエンゴサクは北海道及び本州北部に自生します。オホーツク沿岸の大陸に分布するケシ科キケマン属の宿根草で、エンゴサクという名前は漢方においてこの属の植物につけられる、「延胡索」に由来します。

地下深くに径1~2cmで球状の塊茎があり、早春、地上に1茎を出します。さらに塊茎から5~10cm離れた地上に15mmくらいの長卵形の鱗片を1枚つけ、その腋から小枝を分岐します。草丈は10~15cmです。葉は葉柄を持ち1~2回3出の複葉で、切れ込みはありませんが、最終部には切れ込みがあります。春先に花穂を生じ、総

状花序でややまばらに青紫色~紅紫色の花が咲きます。花の基部の苞は卵状長楕円形で、花冠は一方に唇状に上下の2唇に開き、後方は細い円柱状で端が円く閉じた距となって真っ直ぐに、また端が多少下方に曲がります。雄蕊は6本で、雌蕊は1本です。実(み)は長楕円状線形の蒴果となって黒色で光沢のある種子が入ります。

この植物は変異が甚だしく、葉形及び花色の色調、濃淡はもとより、茎葉の毛状突起の有無、多少などに多様な形態のものが見られます。生育地や葉の切れ目など、形状の違いにより、北海道のものをエゾエンゴサク、本州東北部のものをミチノクエンゴサク、オトメエンゴサク、本州中南部のものをヤマエンゴサク、シロボウエンゴサク、また稀に花が白いシロバナエンゴサクなどの名前で扱われることもあります。

一般には山野に、また疎林の中の樹下に疎生または群生し、春、4月中旬~5月頃に花を咲かせ、春の訪れを知らせてくれる山野草です。 (S.Y.)



<エゾエンゴサク> 清水澄子 画
さっぽろ植物画同好会 会員
豊平公園緑のセンター教室受講生

エゾエンゴサクは豊平公園野草園で4月中旬から5月上旬までカタクリと共に開花します。野草園では他に、フクジュソウ、タツタソウ、シラネアオイなどが次々開花します。ぜひ見に来てください。

左図のボタニカルアートの連続講座を豊平公園緑のセンターで毎年4月から月1~2回のカリキュラムで開講しております。

※本年度は定員に達したため受付を締め切りました。

4月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆**豊平公園** 811-9370 月曜以外毎日

☆**百合が原公園** 772-3511 4/22~ 木曜、日曜

☆**平岡樹芸センター** 883-2891 5/1~ 水曜、土曜

◆鉢物・春の植え替え

雪解けが進んで庭の土が見え始めると庭仕事が気になります。でもその前に、冬の間室内を彩ってくれた鉢物類の植え替えの作業を4月中~下旬のうちに済ませましょう。植替えは、次期開花に向けて株の養生に大切な作業です。

アザレア

アザレアの根は繊細で生育が旺盛です。そのまま育てると夏までに根詰まりを起こし枯れ込んでしまうことがあります。開花後のこの時期植え替えと伸びた枝の刈り込みで株の再生を図りましょう。

植え替え作業

①刈り込み 全体の1/3程度を刈り込む。(図-1) 太い部分を切っても芽は出る。

②根鉢の処理 根鉢の周囲と底部の土を1/3掻き取る。(図-2)

図-1



図-2



③植え込み

a. 鉢の準備 プラスチック鉢(根の大きさの一回り大きめを準備)

b. 用土 $\left\{ \begin{array}{l} \text{ミジンを除いた鹿沼土 7割} \\ \text{未調整ピートモス 3割} \end{array} \right\}$ を混合
(赤玉土、火山礫、ピートモスを等量配合でも良い)

c. 肥料 用土10あたり3~5gの緩効性化成肥料
(マグアンプKなど)を混ぜる。

d. 植え込み 鉢底にゴロ土を入れ根株を入れて
用土を詰める。(図-4)

十分灌水して10日くらい日陰で養生する。
施肥はその2週間後から。

図-3



図-4



シャコバサボテン

花後茎節が伸びた株は、そのままでは全体のバランスが悪く次の花も下向きに咲くなど見栄えが悪くなります。植え替えの時に茎節を整理してから夏の養生に入ります。

植え替え作業

①茎節の摘み取り 株元から3~4節残して摘み取る(図-1)

②根の整理 根鉢の周囲と底部の土を1/3崩してヒゲ根は切る。(図-2)

3~4 節残して
図-1 摘み取る



◎株の更新

③植え込み a. 鉢は前のものより一回り大きめ、素焼鉢、プラ鉢など

を用意する。

b. 用土

$\left\{ \begin{array}{l} \text{赤玉土(M) 6割} \\ \text{腐葉土かピートモス 3割} \\ \text{火山レキ(軽石 S) 1割} \end{array} \right\}$ を混合

c. 植え込み 鉢底にゴロ土を入れ、株を据えて用土を
十分に突き込む。(図-3)

④植え替え後 4~5日日陰におき、十分灌水して日当たりにおく。
2週間後から薄い液肥

図-2

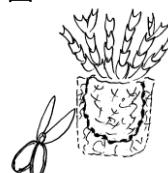
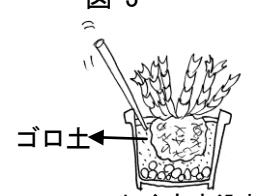


図-3



挿し木

株が古く株元が木化して裾が上がった状態のものは、植え替えの時若い茎節を挿し木して株を更新する。

元気な茎節2~3節、数本を束ねて切り口を水苔で巻き、赤玉土などの鉢に挿す(図-4)

図-4



この後引き続き、カランコエ、ポインセチア、クジャクサボテンなどの植え替え(剪定)作業に入ります。

◆果樹類の休眠期の病害虫の防除

石灰硫黄合剤を散布しよう

果樹は一度植えつけると長期にわたって同じ場所で生育を続けます。病害虫には外部から飛来するものと樹木に付着しているものがあります。果樹や庭木などは成木、老木になるにつれ樹木に付着して越冬する病害虫が徐々に増加し、果樹を収穫するようになると抵抗性も低下するため被害も増え、やがて収穫ができなくなり著しい場合は枯れてしまうことがあります。このようなことから果樹作りでは先月号でお伝えした剪定と病害虫対策は最も重要な問題で欠くことのできない園芸作業です。

・果樹類に発生する主な病害虫

病害	縮葉病	灰色かび病	うどんこ病	灰星病	赤星病	黒星病	斑点病	落葉病	黒とう病	晩腐病
										その他多数
害虫	アブラムシ類	ハダニ類	カイガラムシ類	シンクイムシ類	ケムシ類	ハモグリガ	オウトウミバエ			
										(太字は重要)
オウトウハバチ	コガネムシ類	コスカシバ	その他多数							

・休眠期防除

果樹類には上記のように多くの病害虫が発生するため、專業地帯では耕種的防除を徹底したうえ、少なくとも4~5回、多発樹では10回内外の薬剤散布が行なわれています。

家庭果樹でも成木(結果樹)になると縮葉病やカイガラムシ、ハダニなどが必ず寄生していて生育期には被害を及ぼします。これらは通常の農薬散布では防ぐことはできませんので、休眠期に石灰硫黄合剤の濃厚液を散布します。これを休眠期防除といいます。

- 散布時期 ① 春季融雪後～萌芽前 4月中旬頃
 ② 秋季落葉後～根雪前 11月中下旬頃

通常は春1回 発生の多い木は秋と春の2回

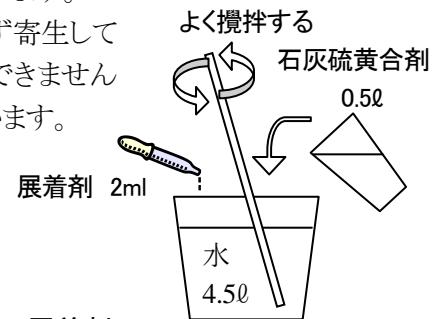
薬剤と濃度 石灰硫黄合剤 7~10倍液

*薄め方の例(10倍液の場合) 水 4.5ℓ、石灰硫黄合剤 0.5ℓ、展着剤 2ml

散布は噴霧器で晴天の日の早朝又は夕方の無風のときには枝先から株元まで全体が濡れるようにかけます。

注意事項：石灰硫黄合剤は汚染が激しいので樹木以外にはかかるないように十分注意しましょう。

また、金属を腐食する成分を含みますので使用後の噴霧器等の器機はよく洗浄してください。



病害虫を知ろう！ Part 9

黒星病の巻 (糸状菌、*Cladosporium carpophilum* THUMEN)

《 症状と診断 》

バラやバラ科の果樹の葉や果実などに発生します。バラに発生したときは黒点病とも呼ばれます。

バラの場合は最初、葉に黒色の小さな斑点を生じ、それが急速に拡大し、やがて斑点の表面に極めて小さな黒い粒が多数できます。枝にも褐色でしみ状の病斑ができます。発病した葉は黄変して落ち、枝は生育が悪くなります。そのため株の生育が悪くなり、花数が減って花も貧弱になります。

果樹の場合は最初、葉や果実などに淡い黒色の小さな斑点を生じ、それが徐々に広がり、やがて病斑部にすす状のカビが密生します。やがて葉が落ちたり、果実の病斑部が凹んだり、そこから裂けたりします。そのため生育が悪くなり、果実の品質が下がり、収穫量も減ります。

《 発生の環境 》

糸状菌(カビの仲間)の感染により起こる病気で、黒い粒やすす状のカビは、胞子の塊です。

胞子は雨などで周囲に飛び散り、病気を広げます。葉や枝などに侵入した菌はそこで冬を越し、翌年の伝染源にもなります。春や秋に雨が続くと、発生しやすくなります。

《 防除法 》

(1) バラでは、① 発病した葉を見つけ次第摘み取る。② 落ち葉も集める。③ 発病した枝を切り取り、ゴミとして処分します。

(2) 果樹では、① 密植せず通風をよくする。② 剪定した枝や落ち葉はていねいに拾い集めてゴミとして処分します。

(3) 薬剤による防除

① バラでは、4月中旬、石灰硫黄合剤20倍液の散布。

葉が開いてから後は、サプロール乳剤、ダコニール1000、オーソサイド水和剤、ベニカXスプレーなどの散布。

② 果樹では、4月中旬、石灰硫黄合剤7~10倍液の散布。

葉が開いてから後は、ビスダイセン水和剤、ベンレート水和剤、オーソサイド水和剤、ダコニール1000などの散布。

4月～5月の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
家庭果樹の楽しみ方	4月 15日(木)	13:30～	4/11(日)～	無料
アザレアなどの鉢花管理	4月 24日(土)	13:30～	〃	〃
クンシランの植え替え	4月 28日(水)	13:30～	〃	〃
家庭菜園の土づくり	4月 29日(木祝)	13:30～	〃	500(土壤検定込)
春からの洋ラン栽培	5月 1日(土)	13:30～	4/23(金)～	無料
家庭菜園の土づくり	5月 2日(日)	13:30～	〃	500(土壤検定込)
芝生の庭作り	5月 3日(月祝)	13:30～	〃	無料
果樹などの病害虫防除	5月 5日(水祝)	13:30～	〃	〃
展示会				
春のパンジー・ヴィオラ展	4月 20日(火)～25日(日)			入場無料
春の風流盆栽展	5月 14日(金)～16日(日)	札幌風流盆栽会		
山野草展	5月 28日(金)～30日(日)	北海道山草会		
連続講座				
【大菊つくり講座】 用土作りから開花まで 全6回の継続講座	4/20(火)、5/25(火)、6/22(火)、 7/21(水)、9/7(火)、10/5(火)	13:30	4/11(日)～	菊苗など実費
【バラつくり実践講座】 春剪定から冬囲いまで 全3回の継続講座	4/30(金)、7/8(木)、10/28(木)	13:30	〃	3回で300円
【「花が大好き」 押花基礎講座】 押し花アート 各コース 全10回継続講座	水曜コース 5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、 10/20、11/17、12/8、1/19、2/16 土曜コース 5/15、6/19、7/17、8/21、9/18、 10/16、11/20、12/11、1/15、 2/19	10:00 10:00	4/23(金)～ 〃	各回1,500 +教材費、 道具代別途

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

緑の相談コーナー 4/22(木)から。木・日曜 10:00～12:00、13:00～16:00 受付				
園芸教室	日	時間	申込受付開始	参加費
野鳥観察会	4月 29日(木祝)	8:00～	4/11(日)～	130円
春の世界の庭園ツアー	5月 1日(土)	10:30～	〃	〃
やさしいセントポーリアの育て方	5月 3日(月祝)	〃	〃	〃
展示会	日		料金	
春の花展	4/1(木)～5/5(水祝)		入館料 130円	
セントポーリア展	4/27(火)～5/5(水祝)		〃	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

4月 29日(木祝)オープンです。

緑の相談コーナー 5/1(土)から。水・土曜 10:00～12:00、13:00～16:00 受付				
講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
小庭の作り方(レンガブロック・庭石・飛び石の据付)	5月 3日(月)	10:00	4月 29日～	300円
芝生の庭作り	5月 5日(水)	13:30	〃	無料

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※